



世界自然遺産の島
屋久島

No.41
平成30年
3月

屋久島町議会だより



屋外活動（千尋の滝まで遠足）

福祉施設紹介⑤デイサービス安房の丘(安房) (P19へ続く)

《主な内容》

◇第4回定例会	2~15	◇決算審査特別委員会報告	13~15
◇総括質疑	4	◇定例会表決結果	16~17
◇一般質問	5~10	◇臨時議会	17~18
◇常任委員会報告	11~12	◇シリーズ[福祉施設紹介]	19

平成29年 12月定例会

補正予算（▲は減額）

12月8日から20日まで13日間にわたる会期で開催され、平成29年屋久島町一般会計補正予算及び平成29年度特別会計補正予算8件、条例4件、庁舎電気・機械設備工事（事務棟）請負契約の締結、債権放棄1件、変更3件、任命1件に議案が提案され、そ	れぞれ原案どおり可決、同意されました。 また、決算審査特別委員会に付託されていた平成28年度一般会計歳出歳入決算認定他8件の特別会計歳出歳入決算認定、特別会計未処理分利益余剰金の処分1件についても認定されました。
---	---

◇一般会計補正予算（第7号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6891万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額それぞれ107億8690万8千円とするもの。【主な歳出】

だいすき基金積み立て経費

7725万8千円

だいすき寄附謝礼品手数料

3862万円

庁舎整備に係る経費▲980

1万1千円

障害者支援費870万円

障害者措置136万7千円

子ども教育・保育給付費38

07万7千円

児童手当993万円

国・県支出金過年度精算返納

金43万2千円

国民健康保険特別会計介護保

険特別会計への繰出金▲51

3万2千円

クリーンサポートセンター炭化施設減容器修繕費339万

6千円土地改良区運営費補助

金222万7千円

農業後継者育成資金貸付金1

00万円

景勝松林保全対策事業196

万6千円

森林整備地域支援交付金28

0万円

屋久杉自然館内設備修繕12

0万円

口永良部島ヘリポート取りつけ道路整備2000万円

栗生地区水路改修1500万円

円

社会資本整備宮之浦街路灯整

備220万円

熊毛地区消防組合負担金11

0万2千円

小中学校管理修繕280万円

準要保護児童生徒援助費助成

正予算（第3号）

国民健康保険事業特別会計補

正予算（第4号）

保険給付費等の減額、療養

減額などを診療所使用料など

で調整し、歳入歳出それぞ

うとするもの。

◇特別会計

簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）

簡易水道施設管理費の不用額の減、国庫補助金の交付額決定による南部地区簡易水道事業費の減などにより、歳入歳出それぞれ6832万6千円を減額し、予算の総額を7億1283万5千円にしようとするもの。

介護保険事業特別会計補正予算（第4号）

国・県支出金支払基金交付金、繰入金などで調整し、歳

入歳出それぞれ2656万円

を追加し、予算の総額を14億

6278万9千円にしようとするもの。

金166万8千円 金岳小中学校共同調理場改修 設計費130万円 林道一湊線200万円 林道口永良部島線650万円 町道荒川線・町道大川の滝線の復旧費用1965万5千円

給付費負担金過年度精算金の増額などを療養給付費交付金などで調整し、歳入歳出それぞれ512万8千円を追加し、予算の総額を25億6245万2千円にしようとするもの。

987万5千円を減額し、予算の総額を1億7650万7千円にしようとするもの。

農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）

公債費の増額などを不用額の減額で調整しようとするもの。

船舶事業特別会計補正予算（第4号）

消費税中間納付分の増額などを運賃収入、一般会計繰入金で調整し、歳入歳出それぞれ202万4千円を追加し、予算の総額を3億907万9千円にしようとするもの。

電気事業特別会計補正予算（第4号）

収益的支出において、人件費の増額を予備費で調整しようとするもの。

平成30年3月 第41号

第4回定例会

**後期高齢者医療事業特別会計
補正予算（第1号）**

後期高齢者医療広域連合納付金の減額などを繰入金で調整し、歳入歳出それぞれ総額を1億5032万3千円にしようとするもの。

条例の一部改正

◇町営土地改良事業分担金徵収条例の一部改正 土地改良法等の一部を改正する法律（平成29年法律第39号）の施行に伴う所要の改正。

◇肉用牛貸し付けに関する条例の一部改正 町内の農業者がより良く利用できるよう、町有牛の貸付けを受けることができる者を明確にするため所要の改正。

◇町一般職員の給与に関する条例の一部改正及び町立学校職員の給与に関する条例の一部改正 人事院により国家公務員の給与の改定について、国会及び内閣に対し勧告が行われた。一般職等の給与につ

いても400円の引き上げを基本に、平均改定率0・2%とした給料表の水準を引き上げることとした。

あわせて、期末手当及び勤勉手当も、支給割合を年間4.

3月分から4・4月に引き上げるためその所要の改正をしそうとするもの。

勉手当も、支給割合を年間4.3月分から4・4月に引き上げるためその所要の改正をしそうとするもの。

◇町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一
部改正 期末手当の支給割合を年間2・95月分から3・3月に。

◇町長等の給与等に関する条例の一部改正 期末手当の支給割合を年間2・95月分から3・3月に。

◇入札情報の公開を求める陳情（入札情報の常時公開がなされていないため、「鹿児島県市町村電子入札システムポータルサイト」への掲載を行うこと）＝採択（現行の公表要領の範囲内で情報公開すべきとの意見を付する）

◇入札時の予定価格公表に關わる公表に關わる規定制定の陳情＝採択

◇屋久島町契約規則の遵守の陳情＝継続審査

◇合併前の両町に制定されていた『放射性廃棄物等の持ち込み（拒否）及び原子力関連施設の立地拒否に関する条例』の廃止された経緯の解明と新たに制定することを求め

る陳情＝継続審査

◇口永良部島辺地総合整備計画の変更

お詫び 前号（40号）の議会だよりで誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。
誤：岩川修二
正：岩川修司
大変失礼致しました。

◇一部地域で発生した公民館活動と公職選挙法に関する問題について再発防止を求める陳情＝採択

活動と公職選挙法に関する問題について再発防止を求める陳情＝採択

活動と公職選挙法に関する問題について再発防止を求める陳情＝採択

◇債権の放棄 電気事業供給条例に基づく電灯及び動力料金 296月分 192万9325円。
◇町教育委員会委員の任命 任期満了に伴い、同委員佐藤明了氏（一湊）を引き続き委員として選任するもの。

その他



あゆみの森こども園入り口



佐藤 明了
(一湊)

◇新庁舎電気設備工事（事務棟）請負契約の締結 契約金額7199万7120円

有限公司 平内電器商会

◇新庁舎機械設備工事（事務棟）請負契約の締結 契約金額5929万2千円

有限公司 ナガノ工業

◇宮之浦多目的集会施設等の指定管理者の指定 前号（40号）の議会だよりで誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。
誤：岩川修二
正：岩川修司
大変失礼致しました。

総括質疑

請負工事の高い落札率をどう考えているか

副町長—高止まり入札にならないよう

再検討する

真辺真紀 議員

真辺真紀（新庁舎事務棟の電気・機械設備工事の入札に参加した業者の）指名理由を教えていただきたい

副町長 まず指名願いを受理。審査後、登録します。指名競争入札で町内の業者というのを第一に指定している。資格を持つた島内の会社すべてを指名するという事を原則としている。基準表にのつとった請負金額を請け負うことでのきる業者をすべて指名している。

真辺真紀（今回の電気・機械設備工事の）落札率が各

96・9%、98・7%と非常に高い。どんなふうに捉えられているか。

副町長 請負の落札率に関しても、確かに予定価格を公表することによって高止まりで落札が行われる。今、予定価

格公表は県内の自治体で3分の1ぐらい行っていると認識。そのような傾向にあると

いうことは承知をしている。高止まりでずっと入札が行われるということで、再度検討をする必要がある。今公表している自治体はそういう認識を持っていて、きちっと次年度に向けて、検討したいと考えている。

おいても指名推薦委員会で業者を推薦するということで、物品の指名推薦委員会については、毎月第2火曜日を開催する予定にしている。建築工事に関しては、建築工事を何件かまとめて発注するので、その都度開催をする。

庁舎整備事業 工事請負費の減額は何か

町長—建築遅れによるもので翌年度改めて計上する

小脇清保 議員

小脇 庁舎整備事業。工事請負費9490万円の戻し予算があるが、これの説明を。

町長 造成費の減については、当初9700万円、新庁舎の敷地の造成ということで計上していた。建築が若干遅れぎみで、年度繰り越しをするよりも平成30年度で改めて計上するということで、今回には減額の補正をしている。



建設途中の事務棟・窓口棟



窓口棟



事務棟の屋根材をあげる作業



事務棟

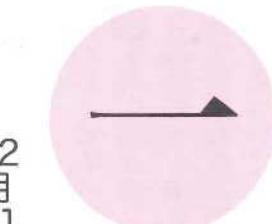


石田尾茂樹 議員

町民の声を町政に

11人がより良い町政を目指して

一 般 質 問



12月11日から13日に行われた一般質問を掲載しています。この内容は、議会会議録をもとに質問者の責任において質問、及び回答を要約したものです。

なお、会議録は議会事務局・町図書室・各集落の公民館で閲覧することができますので、詳細については会議録をご覧ください。

町道の維持管理について

町長／長期振興計画に基づき進めている

問 町道認定における基本的な考え方。

答 個人が設置した道路については、側溝や路面が適切に整備されており、公共の福祉と生活の安定のために町で管理することが必要と認める道路であれば、町で引き受けている。

答 長期振興計画に基づき毎

問 個人で側溝を通し、幅が自動車でゆっくり通れる状況があれば、町道とし認定をし維持管理ができるのか。

答 現地に行き、そういう状況があるならば、財政とも相談し前向きに考えていく。

問 未整備の町道の整備計画をお伺いします。

給食補助金について

教育長／財政上、厳しい状況である

問 保護者の負担軽減策としては給食費補助金を増額する考えはないか。

答 直営を堅持していく。

問 各集落からの町道整備に関する陳情・要望の処理は。優先順位もあり、緊急を要するものは内部検討して整備していく。

答 3か所の共同調理場を管理・運営しており各施設、調理機器等の老朽化も著しく、機器の更新や修繕にも多額の予算を必要とし、保護者負担をこれ以上下げることは厳しい現状である。

問 段階的に補助金を上げて負担軽減を図る考えは来持つていきたい。

答 町長／段階的に、近い将来を今後も直営を堅持していくのか。

真辺 有次 議員



榎 光徳 議員



楠川地区のインフラ整備について

町長／早急に対応したい

問 町道横町線や門前線等路面のへこみがあり歩行者や車両通行上危険である。又、新名志線の側溝の改良は。

答 路面のへこみや側溝づまりを確認しており、コンクリート部分の工法等検討しながら危険箇所の補修等、軽微なものや車両通行上支障になる箇所は早急に対応したい。

問 楠川温泉の取り付け道路と建物本体の抜本的な改修は。

答 補助事業を導入できなき検討しながら、当面は破損箇所の修繕で対応する。

観光関連産業の今後の展望について

町長／出鄉者、大学生等の運賃割引制度についても努力していく

問 大型クルーズ船等の寄港が減少しているが受け入れ体制(歓迎セレモニー等)に問題はないか。

答 高校生による特産品販売や、子供太鼓の演奏等で歓迎行事を行っているが、今後は町が主体となり町民への周知と理解を深めながら、組織化をしていきたい。

問 有人国境離島法における出郷者の帰省時や観光客への割引制度の可能性は。

答 全国離島振興協議会の最

*マルエーフエリー（奄美）が2月2日の南日本新聞で、3月4日からの屋久島寄港を発表した。

観光施設整備の充実を

町長／前向きに検討する

小学校に新設予定強化の対策は

教育長／円滑な実施に向けて積極的に取り組む

問 外国語、道徳が小学校の強化に新設されるが、具体的な内容と本町の取り組みは。

答 外国語については平成32年度から5、6年生を対象に週2時間程度実施する。また、道徳については多様で効果的な指導法へ改善する。

答 外国語の取り組みは。

答 指導計画など理論的な面

問 中間ガジュマル近辺にトイレを早急に設置できないか。

答 地元中間区と協議しながら前向きに検討する。

問 青少年旅行村の施設老朽化が進んでいると思うが。

答 そのようだ。

問 石楠花の森公園は管理用機材等が不足しているので。

答 かかるべき対処をしたい。

志戸子・一湊地区の水道施設改良を急ぐべきでは

町長／平成32年度から実施したい

問 断水が多い志戸子・一湊地区の水道施設の早期改良は。

答 志戸子・永田間4地区を統合整備して、24時間集中監視システムを導入し実施したい。

問 観光施設トイの洋式化及び町内宿泊所に洋式化を奨励できないか。

問 奄美の世界遺産登録をふまえ、奄美、沖縄方面の航路空路の屋久島寄港の路線開拓を急ぐべきではないか。

問 観光客の利便性を図る上からも急ぐ必要があると感じている。奄美便の寄港や、日一ターミナルの運航について要望を行っていく。

大角 利成 議員



上村富士高 議員



スムーズな選挙へ改善を

町長／適正な選挙の執行に努める

問 期日前投票の宣誓書を他の市町村でもしているように選挙入場券に記載してはどうか。又、期日前投票の場所を新庁舎建設にともないどう考えているか。

答 選挙費用の削減を求め交付金が削減されて来ている現状ですが、そのような傾向が時流であるとすれば適正な選

挙の執行に努めたい。

場所については熊毛郡内2箇所以上の自治体はないので新庁舎が完成したら1箇所にすることが決定している。

町長／対応していきたい

森林活性化について

問 屋久島地杉ブランド化により注目される中、筆界未定の地杉や分収林の対策が必要ではないか。

答 平成30年度の国の税制改

正で具体的な仕組み等が示されれば町として対応してまいりたい。分収林については、契約者の特定と把握整理して、伐採時期が来た時点で森林管理署と協議して進めて行きたい。

基幹林道屋久島南部線の維持管理について

町長／道路機能の回復と共に維持管理について検討する

問 小島区を起点、中間区を終点とする林道屋久島南部線は平成28年度に全線開通しているが、現状における思い、今後の維持管理をどのように考えているか。

答 すばらしい景勝地であることから、将来観光道路としての利用も見込まれる。沿線の雑木等が車両通行に支障

を来たしていることから、道路機能の回復と共に今後の維持管理について検討する。

問 応分の維持管理費を町が負担して、関係4集落に管理委託する考えはないか。

答 最終的にはそうしたい。一度町で支障木を整理して、その後4集落とも協議したい。

問 新庁舎完成後の支所利活用について

猿、鹿対策の電気柵については、将来を見据えて環境に配慮した施設整備をするべきである。

町長／検討委員会を設置して早急に方針を決定したい

問 新庁舎完成後の支所利活用については内部で検討させると答弁してきたが、その後どうなっているか。

答 庁舎建設推進室を設置し

問 口永良部番屋峰避難所に行く道が狭く離合が困難な状況だが、何か対策はあるか。

答 早期の整備を図るために、緊急避難道路の観点から、県の補助事業の導入を要望していく。時間がかかるので早急に側溝蓋等の対応で進めてまいりたい。

町長／早急に進めて参りたい

安心安全の避難路を

問 口永良部番屋峰避難所に

よう指示している。平成30年度設置を予定している検討委員会で早期に方針を検討したい。

問 町民も第三者的に行政に参画する時代である。29年度から準備し、町民のニーズを最も把握している区長等をえたプロジェクトチームを平成30年早々に設置して検討できないか。執行部だけの提案にならないよう対処すべき。

答 平成30年当初からできるようにきちんと指示したい。

渡辺 千護議員



問 屋久島町は県内最大13メートルの津波が予想されている。屋久島町は、津波避難対策特別強化地域指定の対象外になっている。指定された場合、避難時の整備に対し、国から3分の2の補助の適用がある。地域指定に出来るよう、県と国を交えて協議すべきでは。

答 地域指定にできるものであれば、再度、町も県と協議を持ちたい。

問 災害に備え、町と各集落との連携のとり方は考えているのか。

答 今、一番の課題であるので屋久島の津波対策の計画を進めている。

南海トラフ地震による津波対策は 町長／防災対策に努める

高橋 義友議員



問 島内において、企業の誘致、定住促進、昨今の情報化時代に過疎地での光ファイバー整備は、都会との格差を縮める情報手段として早急な整備が望まれるが、平成30年

度の新庁舎完成に合わせた島内(光回線)の整備ができないか。

答 高速ブロードバンドの整

備は、島内の通信環境の向上に加え、企業誘致を推進する上でも重要な施策と考えている。現在、導入にあたって町が施設を整備して民間が運営する公設民営方式と民間が設置運営を行う民設民営方式について、どちらがよいか負担額、導入後のランニングコスト等について精査を行つてい

高速通信網の整備について

町長／平成31年度か、32年度実施を目指す

問 島内において、空き家、危険家屋が増えている状況の中で、国の空き家対策特別措置法により空き家に対する施設を町として制定しているか。また今後の危険家屋の取

答 設置はまだしていない。空き家対策の方針や特定空き家に対する措置の手順を定めた、空き家対策計画を策定し、危険家屋については、危険家屋解体撤去補助金制度を実施しており、年間5件前後の解体を補助している。

問 町内において、空き家、危険家屋の撤去について
町長／空き家対策協議会を設置、協議する

答 負担が大きいのは十分承知している。小児科医の常駐が一番だと思っている。常駐は無理でも、診療日を少しでも増やすという対応が出来ないか、病院側に要望していく。

問 3歳児健診に小児眼科を取り入れたい。

答 担当課と話を詰めて前向きに考えたい。

問 今現在、小児科の医療体制が、週2回の診療です。子育てをする親にとって、決して安心出来る体制ではない。今後、安心出来る小児科の医療体制について、病院側に要望して頂きたい。2割の子供が島外診療で、子育て世代にはかなり負担で悩んでい

る。細かい事前準備が必要な為、平成30年度の実施は難しいが、平成31年か32年度実施をめどに準備を図っている。

問 小児科の医療体制は
町長／充実を図るよう要望していきたい

答 今現在、小児科の医療体制が、週2回の診療です。子育てをする親にとって、決して安心出来る体制ではない。今後、安心出来る小児科の医療体制について、病院側に要望して頂きたい。2割の子供が島外診療で、子育て世代にはかなり負担で悩んでい

寺田 猛 議員



小脇 清保 議員



指名競争入札の有り方について

町長／慎重に検討する

問 予定価格の公表で98%、99%という落札率である。今後もこの方法を続けるつもりか。

答 事前公表してきたこれまでの経過を検証して、今後どうするか慎重に検討してまいりたい。

問 予定価格を公表しているにも関わらず上回って入札し

ているケースや辞退もある。他の自治体では指名取り消しもあると聞くがわが町ではどうか。

答 公表しているのは建築工事だけで有り、庁舎建設に関しては予定価格を上回った入札はないと認識している。辞退した事で次に指名しないという措置はとつていいない。

森林組合の監事就任について

副町長／経験ある人を筆頭監事に

問 旧両町が2千万円ずつ合わせて4千万円供出して再建する時の約束は副町長の監事就任であることは再三申し上げてきた。やっと実現したものの筆頭監事でないのは何故か。

答 監事としての職務上何ら差はないという事で、年長と経験があるから民間の人を筆頭にしたという事で了解した。

問 頭にしたといふ事で了解した。監事に差がないのであれば、筆頭という文字を消して頂きたい。設立時の4千万円供出は何かあれば、議会を含め行政の責任である。今からでも遅くない。筆頭監事を入れ替わって下さい。

※その他の質問

1. 町道、農道の管理について
2. クリーンサポートセンター検討委員会設置要望について

政策アドバイザーを登用するべきでは

町長／人材登用を検討したい

問 本町は、年度末の地域ブランド調査において、全国で第十位に入るなど、その知名度・ネームバリューは私達の認識を超えて高い評価を受けている。そのブランド力を生かし、さらなる地域資源の掘り起こしや、利活用を図る施策を展開するために、国が推進する地方創生人材支援制度

答 等に参画し、専門性のある人材を登用し、施策の企画・立案を図るべきでは。

寝待温泉の資源活用を再考・再構築すべきでは

町長／施設の新設も含めて検討している

かれた住環境への誘い等、高い知名度を生かした施策を開発する努力を続ける。あらゆる情報・人脉の募集・登用を検討する。

問 寝待温泉の現状復旧は諸事情を考慮すると展望が持てないと感じる。代替案として、立神方面に新設して温泉資源の有効活用を図るべきでは。

答 噴火災害以降、本線が唯一の基幹道路、安全通行に向け早急に調査し順次整備する。

真辺 真紀 議員



岩山 鶴美 議員



さわやかあいさつ日本一の取り組みについて

町長／職員を教育していく

問 「さわやかあいさつ日本一」に取り組んでいるが、この活動の成果は。

答 この運動が始まり5年が経過している。屋久島高等学校の生徒の挨拶はすばらしい。職員に対しても、呼びかけて公務員としての自覚を持つべきだと指導をしている。

問 あいさつ日本一はまず役

場職員から、そして大人から。町民の皆さんに聞くと、職員の挨拶や対応は悲しくなるほど評価が低い。役場と議会と

町民が信頼関係を強くすることができ、素晴らしい屋久島を作っていくことにつながると信じている。そこに必要なものが、挨拶。役場が変われば屋久島が変わると言つても過

言ではない。専門の講師をお願いして取り組む考えはないか。

答 役場職員は1万3千人の屋久島の人たちの幸せになるかならないか、軸足はそこに

あるので、課長も部下の教育をしてこれからも職員に対話ししていく。

新オレンジプランの取り組みは

町長／専門職により施策を実施していく

もある。災害備蓄品に関して、何か計画は。

答 昨年度、3日分の食料セットを100セット購入し、尾之間支所に備蓄。十分と言える状況ではないので早急に備蓄品の拡充を図るべき。現時点は各種備蓄品の目標を定めていない状況にある。

問 宮之浦の消防組合北分遣所や役場支所が河川の際の海抜2メートルと大変低い位置にある。津波が発生したときは浸水する可能性が大きい。高台に移転して備える必要があるのではないか。

答 津波による被害を未然に防ぐ意味合いで、公共施設を高台に移転させることは有

町長／早急に備蓄品の拡充を図るべき

問 離島であり、離島の離島

津波に備えて、海拔の低い公共施設の高台移設は

町長／財政面を考慮すると厳しい

問 宮之浦の消防組合北分遣所や役場支所が河川の際の海抜2メートルと大変低い位置にある。津波が発生したときは浸水する可能性が大きい。

答 津波による被害を未然に防ぐ意味合いで、公共施設

効な策。財政面を考慮すると、現時点での着手は厳しいと言わざるを得ない。迅速な避難ができるよう防災意識の向上を取り組みたい。

問 離島であり、離島の離島

防災マップの作成・発行は

町長／検討する必要があ

る

答 南海トラフの地震の想定値が示された段階で、地域防災計画にその対応策を掲載。地域防災計画に携わった人たちも含めて検討していくべき。

問 町全域の防災マップを作成、発行する計画は。

知症の早期発見、対応の理解度促進は、4月より新オレンジプランが導入されるが、町としての取り組みは。

答 理解促進は、毎年中学生や一般の認知症サポート講座を開催し、継続して取り組む予定。専門職により安心安全の町づくりを目指し、施策を実施していく。

答 本町の防災マップ作成後に、さまざまな防災情報が新たに出てきている。防災情報が増大していく中で、多くの情報を防災マップに載せてしまって、わかりにくないので今後検討していく必要がある。

問 いつ、誰が検討されるのか。

答 本町の防災マップ作成時に、さまざまな防災情報が新たに出てきている。防災情報が増大していく中で、多くの情報を防災マップに載せてしまって、わかりにくないので今後検討していく必要がある。

問 いつ、誰が検討されるのか。

常任委員会報告

常任委員会審査報告

総務文教常任委員会

本委員会に付託された案件は本委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案2件、その他の案件3件の計7件。

質疑応答等の主なものは次のとおり。

過疎地域自立促進計画の変更について

答 28年度の事業で実施した。

過疎債、辺地債も含め、大きな変更は何か。

答 南部、北部両地域の簡易水道事業、宮之浦、永田等の景勝松林の保全事業等である。

問 有人国境離島法における運賃低廉化による町の負担分の予想額は。

答 おおむね6、7千万円では。

問 高速通信回線はある。

答 詳細が決定していないので、頭出し予算の意味合いで概算を掲載している。

問 辺地総合整備計画の変更について

問 健康の森公園遊具整備事業について

答 28年度は約1億7千万円、今年度は約1億5千万円程度を見込んでいる。

問 地域おこし協力隊員の募

集や応募のありようは。答 応募者が少なく苦慮している。口永良部島では、ようやく来年1月から採用予定である。

船舶事業補正予算

問 新船の検討委員会の進捗について。

答 今年度3回会議を実施した。国庫補助に必要な下見積もりの提出を数社の造船所に求めている。

問 航路体系の変更の検討については。

答 口永良部島島民の生活航路を原則に検討したい。

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

問 今回の改正での人件費の増額の額は。

答 確たる数字の持ち合わせはないが、要望された箇所は、長期振興計画等で上げてある。

問 町内の防火水槽の充足率度、昨年は306万円。

答 町税、国保税等を合わせると、今年度は340万円程度。

問 徴収員からの相談はないか。

答 徴収員は7名いる。

問 未勤勉手当630万円、共済費120万円。

※討論では反対の立場で、この改正による約900万円の負担は、財政状況や町民生活を見ると大きな負担である。

人事院勧告は強制ではなく簡単に改正すべきではないとの意見あり。

問 辺地総合整備計画の変更について

答 27年度は約1億7千万円、28年度は約1億1千万円

問 地域おこし協力隊員の募

答 30アール未満でも農業をされている。所得もあるの

産業厚生常任委員会

本委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案8件、その他の案件1件の計11件。

質疑応答等は次のとおり。

債権の放棄について

問 いなくなつても通電しているのか、鹿児島は2カ月支払わなければ電気がとまる、それぐらい厳しくする必要がある。上屋久電気は徴収員を頼んでいるか。

答 徴収員は7名いる。

問 徴収員からの相談はないか。

答 相談はある、確約のとれない者は督促状を出していい。

問 催告状を発行して、納入誓約のない者は通電を停止している。

答 農業所得で上がれば対象者にしたい。

一般会計補正予算(分割)

問 口永良部島のヘリポートの取りつけ道路は2カ年で3200万円で全て終わるのか。

答 2カ年の計画であったが、国からの補助金が出るということで、単年度3200万円で実施する。

肉用牛貸付けに関する条例の一部改正について

問 今までと何が違うのか。

答 対象者を農業者に明確にする必要があった。

問 農業者を追加したという意味ではないのか。

答 農業者を追加したという意見もある。



ヘリポート入り口

常任委員会報告

問 尾之間運動公園のトイレの進捗状況は。

答 当初、木造で、構造材は島外材を使う予定としていたが、島内産材を使うべきとの声があり、島内産材を使う見直しをしている。

問 児童手当が大きく増額しているが、制度改正があつたのか、当初見積もりが甘かつたのか。

答 初予算は前年の実績に見合うように計上している。今年度の場合は、転入または出生の追加調整額があり、来年2月に支払う金額を再調整した結果、増額になった。

問 未熟児養育医療助成金の増額の理由は。

答 実績に基づき3月まで見込んで増額している。

問 屋根つきゲートボール場の修繕などのような工事か

答 日光を取り込むための窓が破損したため修理する。

問 旧焼却場の整理業務委託が大幅に減額されているが、入札の結果か。

答 入札の段階で執行残が200万円ほどあり、残りの部分について、今年度は整理を

大きく進めるため、当初予算で重機借り上げ料を計上して

いたが、現重機を修繕する必要が生じ、今年度は重機借り上げを見送ることとした。

問 クリーンサポートセンターの起債は何年で幾ら残っているか。

答 残りの起債は5億7900万円ほどで、平成32年度末まで。

問 旧焼却場整理業務委託について、請負業者に聞くと、トラン当たり幾らという契約をしていると聞いたが事実か。

答 以前はそのような形で精算していたが、現在はそのようないことはなく、量ではなく、作業人数の労務単価を掛けて輸送費も含んだ価格で積算している。

問 簡易水道事業補正予算

問 期限切れ用水池取り替え業務委託については、平成29年度は何基あつたか。

答 正確な数字はわからないが100基弱。

問 南部地区と西部地区はどこからどこまでか。

答 南部地区は永久保から麦生まで、西部地区は平内の上

ノ牧から湯泊まで、栗生、中間は栗生中間地区、小島、尾之間は尾之間地区、原は原地区という分け方で、南部地区は5地区。

問 一般被保険者返納金について。

答 国保だったら、社保になつた場合、国保の廃止手続きせずに病院にかかるて国保の保険証を使つてしまふことがある。通常は少額だが、今年度は1件大きな返納があり、100万円を計上した。

問 第三者納付金については。

答 事故の際、本来相手が負担すべき治療費を自身の国保で立てかえた分の損保ジャパンの返還金である。

問 介護保険事業特補正予算

問 包括支援の管轄で、各集落等でサロン等が活発に行われているが、サロン等が立ち上がつていらない地区は何地区か。

答 年間40週を超えて活動しているサロンについては4集落実施されている。そのほか19集落がさまざまなサロン等を実施しており、月に3回か

ら4回実施されるサロンを目指している。

問 来年度から始まるオレンジプランは認知症だけが対象ではないかと期待している。

答 平成27年度からオレンジプランという名称でスタートしている。これには7つの柱があるが、国としては認知症に特化した政策として進めて

いる。町としても、27年から29年度の3カ年の間に、オレンジプランの中の認知症初期集中支援チームを医師も含めスタートすることが義務化されている。

問 診療所事業補正予算

問 栗生診療所の収入が減となつていて、これは町民が変更になつていているということか。

答 医師が7月に交代しているが、診療人数は減っていないが、薬を使わない先生なので減額となつた。

問 ジェネリック医薬品を使つてもらう体制づくりは。

答 医師によつて考え方がある。ジェネリックへの移行をお願いしている。永田診療所においても、本年来られた先

生がジェネリックへの意識が高いと感じている。電子カルテを導入し、薬についてもジェネリックの導入が比較的以前よりスマーズに流れている。

問 旅費が増額となつているが、どういう関係で旅費が必要か。

答 公営企業会計に伴う研修会等の旅費。

問 電気事業補正予算

問 屋久島の場合は、1社がほとんど随契ではないか。

答 随時契約はそこでしか扱えないようなもので、コンピューター関係や機材のメンテナンスになつていて。そのほかは、年間を通して行う分については指名願いを出している業者を指名し、競争入札を行つてている。

問 職員5名の中に課長の給与は入つてあるか。

答 入つてある、5名分が全て電気の収益から支払われている。

決算審査特別委員会報告

定例会にて平成28年度決算の審査について報告

当委員会に附託された案件は、議案1件、認定9件。

すべて可決、認定するべきものと決定しました。

電気課

問 不納欠損に至るまで徴収について最大の努力をして欲しい。積立金は、通帳を分けて管理するように言われているが、課としての考えは。

答 会計課とも協議しないといけないが、決算書等で数字が明確になっているので通帳を分ける必要はないと考えている。

問 電気料の料金体系はどうなっているか。

答 基本料金は4社とも同じ。使用料については段階的に変わるが、一般家庭では一番安いものは九州電力、次に本町、その次が安房と農協。

問 安定化資金貸し付けの効果は。

答 中小企業にとっては有利な制度として毎年利用があり、商工会から制度の継続の要望もある。利子補給も一方でやっているため、似通った制度であると認識している。

問 町営住宅における迷惑行為に関して、昨年度は2名であったが。

財産管理課

監査委員事務局

答 昨年度は迷惑行為に関する指導の要綱を策定し、要綱に基づき2名の指導を行った。

問 住宅使用料の滞納額が減っているが、収納対策委員会の結果を見てよいか。

答 町の対策委員会は直接収することではなく、議論の場である。滞納額が減った原因として考えられるのは、一括の催告発行を3回から4回に増やし、連帯保証人への催告や面談を行った結果である。

船舶事業

問 島間航路について検討の余地がある最大の理由と住民ニーズに合わせた別な航路を検討すべき。

答 一番は、利用者が減少していることであり、航路の維持については検討されるべきと考える。航路改善協議会等において議論の最中であるが、島間航路をなくし、口永良部島への回数を増やすことを経費等を考慮し国が認めることがないと思われるでの、工夫して検討しなければならない。

環境政策課

問 「ゆのこの湯」は、島民は無料で使用できるか。また、歳入歳出のバランスを調整する予定があるか。

答 町民も使用料をいただいている。必要最低限の管理をしているが、これ以上経費がかからないようにしていかなければならぬ。

問 尾之間旧焼却場の埋め立てごみ処理は、当初計画からどの程度進んでいるのか。また、処分終了までにどの程度を見込んでいるか。

答 昨年残量調査をしたところ、1万立方程度は未処理であり、少なくとも6年から7年かかる見込みである。

企画調整課

金額を払っているが、妥当か。

手数料だけではなく、返

仕事だが、議選監査委員は1人で足りているのか。

答 今のことではない。今年6月の法改正により、条例の定めるところにより平成30年4月より議選監査委員は入れなくて

Rをすべき。

答 職員で対応していたが手が回らず、JTBに依頼した。業者にはパンフレット等を送付している。

健康増進課

問 歯周疾患健診に德州会病院の歯科が入っていないのは、受け入れができないかったのか。

答 医師会との兼ね合いがある。また、德州会の歯科は受診者が多く、予約が取りにく

い状況を聞いている。現在は、契約医療機関に含まれていないが、住民からも受診希望があることから、今後検討していきたい。

礼品も含めている。

問 屋久島という冠があるにもかかわらず、ふるさと納税が少ない。お金をかけて動き、増額を、関東屋久島会等に職員がみずから出向き、P

P

答 特定健診の受診向上対策について。

国民健康保険事業

監査委員の仕事は重要な

決算審査特別委員会報告

答 医療適正化地区推進委託

を、宮之浦に加え安房地区、春牧地区にもお願ひし、受診率向上へ取り組んでいる。

後期高齢者医療事業

長寿健診の対象者は。

答 基本的には75歳以上で長期入院者、施設入所者、生活習慣病で通院中の場合は除外され、障害認定者で後期高齢者となつた65歳以上の方は含まれている。

税務課

答 例年、徴収率が90%の前半で推移しており、不納欠損額も毎年相当額あるが、税務課の考え方を聞きたい。

答 徴収率は現年と過年度合

算で判断され、現在は過年度対策として財産調査に力を入れ、有効財産が発見された場合は差し押さえを執行し、有効財産が発見されない場合は滞納処分の執行停止処理をし、3年資力の回復が見られない場所は不納欠損となる。時効消滅についても、時効に至るまでに十分な調査、

交渉を実施している。

議会事務局

答 今後の議会報告会のあり方について改善すべき。

介護衛生課

火葬場事業について、昨年は職員2名、臨時職員1名で継続するか検討すると回答

があつたが、検討を行つたか。

答 3名の職員が火葬場以外の多くの業務を抱えている状況では、高齢化による火葬数の増加を考えると人員増を考えた。指定管理者についての発言は誤りであり、訂正した。

答 医師を探したが見つからず、現在は月4回、延べ8日医師が行くよう配慮している。町と協議の中で、当面現状を維持することで対応する旨で依頼している。医師配置には時間をいただきたい。

農業委員会

機構集積支援事業により集積されている農地の割合は。

答 担い手の農地利用集積率はおよそ30%、国からの目標として中間管理事業を通して担い手80%、鹿児島県については農業振興県であるので90%を目指として示される。しかし、屋久島町は認定農業者担い手が70名で農地利用集積は現実的に難しいので、担い手農家の育成をしていかなければならない。

答 担い手の農地利用集積率は厳しい状況であるが、現年貸し付けに支障を来してはどうのようにされているか。

答 事業として明許縫越し、屋根、照明の改修、天井部分に設置してある反響板を撤去し、壁面も木造であることから撤去、ほかにも誘導灯などを取りつける。

答 壁の状態調査が必要であつたため改修ができず、29年度は空調を先に実施した。

答 小瀬田公民館の改修の明許縫越しの理由は。

に支障がないように午前6時から午前7時に実施している。鹿児島大学との共同で行つている圃場についての管理費である。

試験園管理委託料の42万円の内訳は。

社会教育課

安房体育館の改修を3カ年かけているが、防災の工夫はどうのようにされているか。

答 事業として明許縫越し、屋根、照明の改修、天井部分に設置してある反響板を撤去し、壁面も木造であることから撤去、ほかにも誘導灯などを取りつける。

答 安房体育館の改修を3カ年かけているが、防災の工夫はどうのようにされているか。

答 実際に不安があるという面ではアンケートをとったことがない。離島に来る教職員に入居先があるという安心感はあると思う。一般住宅については20世帯が入居している。さざざまな要望があるが、計画的にやっていきたい。

福祉事務所

育英奨学資金貸し付けについて、現年、過年分の徴収率は厳しい状況であるが、現年貸し付けに支障を来ていないのか。また、未納者で行方不明者は何人いるか。

答 貸し付けに支障を来していないのか。所在不明者は2名から3名。

給食センター

問 異物混入についてはどうか。

答 異物混入は、平成28年度は11件あり、野菜についていた虫が除去できなかつた。髪の毛については、調理だけではなく現場でも混入があり得る。

建設課

問 予定価格を事前に公表する利点は何か。

答 発注者側がこの工事はこれぐらいと示すことによつて、見積もる業者が間違つた見積もりをしない日安となることと、予定価格を非公開にした場合、職員や契約担当者に探ろうとする不穏な動きをさせないという2点で事前公表している。

べき。

問 庁舎建設対策室では、ス

トックヤードとは何か。土地を購入しているが、今後も使つていくのか。

答 平成26年度から庁舎建設用木材が伐採され、天然乾燥させるため、場所として選定し、借り受けたが、庁舎建設現場に近く、将来的に多目的に活用が見込まれるため購入。

決算審査特別委員会 現地調査



決算審査特別委員会報告・議会動向

選挙管理委員会

問 選挙の入場はがきの文字が小さく見にくい。文字を大きくできないか。

答 入場券はがきの文字は確かに見にくいくと思う。経費の関係もあり、一枚に2人分出力されている。バーコード対応を検討している。バーコード対応となると、一人一枚になつてくるので、多少文字は大きくなると思う。

町民生活課

問 健やかベビーに関して、少子化の中で出産祝い金を上げる動きはないか。

答 合併から3万円で、1子、2子、3子一律に同額を支給している。本年6月の一般質問で、町長が見直すとの回答をしているので、予算編成時に予算計上し、財務と協議しながら見直す。

問 南海トラフ地震の発生も危惧されるため、団員の確保に気を配つて、体制を整える

問 財政健全化において職員給与の見直しは考えていなか。

答 職員給与は毎年度国の人事院勧告に基づき増減を行つてある。現在、町独自で定める規定はない。

消防課

問 全国的に消防団員の需要が高まっているが、消防団員の確保はどうなつてているか。

答 定数は満たしていない。消防団員確保のために女性団員の募集にも取り組んでおり、現在9名の女性団員がいる。

問 広葉樹も購入しているが、保管先と種類は何か。

答 工房屋久島から、タブ、センドン等を購入し、ストックヤードに保管している。

総務課

問 広葉樹も購入しているが、保管先と種類は何か。

答 工房屋久島から、タブ、センドン等を購入し、ストックヤードに保管している。

議会動向

12月 1日	第4回議会運営委員会(尾之間支所)
8日	第4回屋久島町議会定例会開会(～12／20まで) 第7回全員協議会(尾之間支所)
21日	議員研修会(小瀬田本庁)
26日	第2回米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会臨時総会(西之表市)
1月 3日	屋久島町成人式(離島開発総合センター)
4日	平成30年仕事始め式(安房総合センター)
6日	平成30年消防出初め式(宮之浦会場)
17日	熊毛地区植樹祭(中種子町)
18日	種子島久振興協議会高速船の更新等に係る国等への要請活動(東京都)
21日	ニュージーランド派遣業成果発表会(文化村センター)
29日	I C T 挑戦セミナー(鹿児島市)
30日	町村議員研修会(鹿児島市)
2月 8日	第1回臨時会(尾之間支所)
9日	県後期高齢者医療広域連合議会議員研修会(鹿児島市)
10日	全国エコツーリズム大会in屋久島(～12日)
13日	第1回熊毛地区消防組合議会定例会(西之表市)
16日	種子島屋久島振興協議会第2回総会 米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会解散総会 第65回県下一周駅伝大会熊毛チーム激励会(鹿児島市)
17日	2018サイクリング屋久島(～18日)
20日	県町村議会議長会定期総会 県離島振興町村議会議長会定期総会(鹿児島市)
21日	県後期高齢者医療広域連合議会第1回定例会 県下一周駅伝大会熊毛チーム解団式(鹿児島市)
25日	第11回生涯学習大会(安房総合センター)

12月定例会 表決結果・討論

討論内容

庁舎電気設備工事（事務棟）の請負契約の締結

反対 真辺真紀 議員

先月行われた事務棟本体建設工事の入札落札率98.6%。電気設備工事の落札率96.9%。新庁舎建設について係る入札案件、落札が非常に高い。予定入札価格の事前公表の在り方を検討するべき。公表を続けるのであれば規定を早急に設けることを求める。

落札率が95%を超える高落札入札に関して、高落札入札調査制度を導入して、入札が適正に行われたものが検証する仕組みを導入されている自治体もある。このような入札を議会が問題視しない現状にも大きな疑問を持つ。

※機械設備（事務棟）の請負契約の締結についても、落札率98.7%。同様の理由にての反対討論。

賛成 石田尾茂樹 議員

条例規則上位法に則つて契約されている。

反対 真辺真紀 議員

一般職員の職員給与に関する条例の一部改正

反対 真辺真紀 議員

町の財政状況はいかがか。財政状況の公表でも厳しいと言っている。今年度は普通交付税縮減3年目であり更なる減額が見込まれる。事業選定による歳出削減により予算がないからとできない事業が多く存在するなか、職員関連だけ予算がつくといった矛盾しえどん針を町民は受け入れないと考える。自主財源確保の方策を明確にするなど財政硬直化を回避する方策を打ち出してから再検討するよう要望する。

の情勢に適応した給与を確保するということで、あくまでも民間準拠を基本に勧告を行っている。人事院の勧告については、一般企業の対象とした企業の従業員数を見直し、100名から500名、200名という中小企業を、今、対象にして勧告を行っています。上げるということは、日本の中小企業も景気が上回っているということ。公務員の労働基本権の代償措置として大きな勧告である。

反対 岩山鶴美 議員

最もなことであるし理解もできる。この問題は、選挙管理委員会がしっかりと把握し指導していく問題であると考える。これを議会の問題として論議していかなければならぬのか理解に苦しむ。

賛成 石田尾茂樹 議員

人事院の給与勧告は、労働基本権の制約の代償措置として国がやっている。社会一般

12月定例会議員表決一覧 (賛否の分かれた議案のみ) ○は賛成 ●は反対

※議長を除く

件 名	議員名 結果	真辺 真紀	相良 健一郎	岩山 鶴美	上村 富士高	大角 利成	渡辺 千護	石田尾 茂樹	榎 光徳	高橋 義友	岩川 修司	小脇 清保	日高 好作	下野 次雄	寺田 猛
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
庁舎電気設備工事(事務棟)請負契約の締結	可 決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
庁舎機械設備(事務棟)請負契約の締結	可 決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可 決	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一部地域で発生した公民館活動と公職選挙に関する問題について再発防止を求める陳情	採 択	○	●	●	●	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○
入札情報の公開を求める陳情	採 択	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
入札時の予定価格公表に関わる規定制定の陳情	採 択	○	●	●	●	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○
町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可 決	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	○
屋久島町長等の給与等に関する条例の一部改正	可 決	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○

第1回 臨時会

入札時の予定価格の公表に関する規定制定の陳情

反対 岩山鶴美 議員

二十数年前に、奄美大島で、県の職員と建設業者との間で贈収賄事件があり大きな問題となつた。職員は退職、業者は指名停止。その後、県は、予定価格の公表に踏み切つた。理由は、こういう問題の撲滅、職員を守る観点からだと思われる。屋久島町もそれによって予定価格の公表をしたものだと思う。県職のように、3年ほどで転属や転勤の者でもそういうことがあつたのであれば、役場のようないいと思う。

また、最低入札制限価格は設定されている。公表をしていないだけ。

賛成 真辺真紀 議員

この陳情の趣旨は、入札時予定価格を公表するなどということではなく、入札時の予定価格を公表するのであれば、規定を定めた上で予定価格を

公表とと解釈される。

さまざまなお自治体で、公表の要領がある。公表をするのなら事前に規定を設けて、そのルールの中で公表するなら何も問題はない。

町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

反対 渡辺千護 議員

町民全体の所得と町の財政難を考えると、議員報酬は上げるべきではない。

反対 真辺真紀 議員

歳出削減の推進、自主財源の確保というところが非常に薄い。依存財源が非常に多い。その点の回復が先。

※町長等の給与に関する条例の一部改正についても同様の理由にて反対討論。

第1回 臨時会

2月8日、臨時会が開催され、2件の議案が提出されました。

安房体育館防災機能強化工事

(1工区) 請負変更契約の締結

設計変更に伴い、契約金額

1億3284万円を1億5183万4千円に変更する。

一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6257万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ108億4948万7千円とするもの。

以上全ての議案を原案通り可決した。

質疑

榎 光徳 議員

本町には、安房体育館、宮之浦体育館、あと類似施設等ある。この防災機能強化といふことで、耐震強度診断の経過を踏まえてのことだと思うが、耐震診断は両体育館ともされているか。この事業は、離島活性化交付金に基づいて

の事業。今年が最終年度ということだが、この事業は何ヵ年で総体事業費はどれぐらいになるのか。

社会教育課長

安房体育館の耐震強度の診断は、平成20年度に建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づいて耐震診断を実施した結果、この建物については地震時、倒壊または崩壊の危険性があるため補強の必要があるとの診断を受けた。

それに伴い平成27年の9月に離島活性化交付金安心・安

全向上事業、防災機能強化事

業の活用によって体育館の耐震化改修事業を検討。

要望調書の採択を受け、申

請後、平成28年の2月に交付

決定となり、6759万7千

円を平成27年度事業の明許線り越しを経て、平成28年度に決定となり、6759万7千

31日に完成した。

また、平成28年度事業として、体育館防災機能強化改修工事1億7915万千円明許

繰り越をして、今回の変更契約を終えて、総額が2億8690万5千円の工事費で平成

30年2月28日に完成。

宮之浦体育館については、

平成8年に電気施設建物調査を行い、建築の調査を経て、平成14年の8月に外壁と屋根の補修をした。建築物の耐震

改修の促進に関する法律に基

づいて昭和56年6月1日に降

に建てられたものに対しても、新耐震基準がクリアして

いる。

安房体育館は、昭和56年以前に建設、耐震診断を実施し

た結果で現在に至っている。

眞邊真紀 議員

変更工事の概要に「屋根をふきかえるために、既存瓦棒屋根を撤去したところ」それは10月にわかつて、仮契約を結んだのが1月22日、この時間差は。

建設課長兼庁舎建築係

屋根をふきかえるために屋根材を撤去。その下地の木毛セメント板の劣化が判明。それは10月のこと。予算の執行残額では、これの取りかえには対応できなかつた。下地の木毛セメント板の取りかえを行わないと体育館の改修ができず、下地の取りかえを検討。予算の残額では足りず、予算の増額を10月30日に専決補正をした。11月7日の第4回臨時会において専決の承認をいただいた。

建設工事の変更契約の手続の流れとしては、設計図書に明示をされていない事実が発見された場合に、発注者、受注者ともに現場調査をして、設計の変更が必要であるといふ確認がなされた場合には、設計図書の変更を行い、それ

に係る概算工事費を積算する。その工事費が予算の範囲内にあるかを確認した上で、執行の工事の変更の指示を受注者に発注者から行い、変更の工事をするという流れである。

現場では幾つかそういうた設計図書に示されていない変更箇所が出てくる場合があるので、確認した後、変更指示をして変更工事を行うという段取りを踏んだ後に、それに係る工事費を精算、精査して、受注者、発注者双方で確認をした後に変更契約を行うという手続の流れになる。

現場での変更工事の実施は、変更指示によつて先に行われ、変更契約はその後に全ての変更工事の工事変更額を精査した後に契約をするといふ流れになるので、契約のほう

が後になる。

建設課長兼庁舎建築係

現在の工事の進捗として、内装の工事が若干残つていて、工期としては2月末に完了の予定。契約の時期が1月になつてゐるということについては、現場の変更が起きてくることが何ヵ所か出でてくる場合がありますので、それらを全て整つたところで変更契約をするという考え方。議会に諮る案件でもあるので、一つ変更契約をして議会の議決を得る。全ての変更がまとまつたところで変更契約をして、今回変更契約の議決をお願いしている。

工事によって延べ日数で何日工事期間がふえるのか。工事期間としては何日を要するのか。

建設課長兼庁舎建築係

屋根下地材の劣化が発見さ

れたことによる変更。この下地材のその劣化の状態については、屋根の金属板をはいで寄附された方は何名で、1人の最高額はどの程度なのか。

大角利成 議員

企画調整課長

ふるさと納税の件数は、1

月末現在で3419件、金額は1億7440万8884円。昨年の28年度の1月末が1億186万9553円なので、昨年よりも700万円ほど多くなつてゐる。

高額な納税をしていただい

た方は、1件、1000万円を超えるような高額な寄附をいただいている。

小脇清保 議員

1900万円はかなり高額な工事。もう一回競争入札を

別な業者にさせるということは考えられなかつたか。議会が追認しているような感じで、もう既に工事できるものと思つて作業員が動いていたのか。積算、設計ができるのか。これ不適切なコラタントを頼んでいるはず。

2度目の設計変更、追加工事だが、設計も積算もコンサルタントでは。この追加

1回目でこれがわからなかつたのか。積算、設計ができるのか。これ不適切なコラタントを頼んでいるはず。

1回目でこれがわからなかつたのか。積算、設計ができるのか。これ不適切なコラタントを頼んでいるはず。

1回目でこれがわからなかつたのか。積算、設計ができるのか。これが許されるのかということを再度伺う。

1回目でこれがわからなかつたのか。積算、設計ができるのか。これが許されるのかということを再度伺う。

副町長

十分理解できるところ。従来の施設の修理を含んでより精度を高めていく事業なので、施工の過程であらゆる当初所見できなかつたものが出てくる。



安房体育館

福祉施設紹介⑤

社会福祉法人 愛心会 デイサービス 安房の丘

平成24年春牧にオープン

社会福祉法人愛心会ディサービス安房の丘は、平成24年11月1日に、それまで原地区において運営されておりました、デイサービスちひろの里の運営を引き継ぐかたちで、デイサービスが未整備であります、安房春牧地区にオープンさせていただきまし

自信と生きがいを

当事業所の運営方針といったしましては、「利用者様が自分らしく生き生きと輝き、自信と生きがいが持てる支援に努めること」を掲げ、日々、

機能訓練、レクリエーション活動、利用者様の嗜好に合わせた食事の提供、屋外活動等に精力的に取り組んでおります。

楽しくて、美味しい

レクリエーション活動につきましては、「歩行状態が以前より良くなつた」などの喜びの声を多数いただいております。

機能訓練につきましては、「在宅での生活が少しでも長く継続できるように」との想いを胸に機能訓練指導員である看護師が、利用者様お一人お一人の残存能力や身体状態に合わせた機能訓練計画書を立案させていただき、計画にそつた機能訓練を日々行うことで、利用者様や家族様より、「立ち上がりが楽になつ

機能訓練風景



れるメニューを取り入れながら提供させていただいております。安房の丘到着時の開口一番に「今日のお昼ごはんは何?」と尋ねられる利用者様もおられ、昼食を楽しみに安房の丘をご利用下さっている利用者様が多数おられます。さらに、最近の屋外活動をいたしまして、緋寒桜鑑賞ドライブ、無人市めぐり、ショッピングを行つております。日頃、屋内での生活時間がどうしても長くなられますので、季節を感じるドライブや、ショッピングは大変好評をいただいておりますし、何よりも屋外活動を通じて利用者様同士の交流も促され楽しい時間を過ごしていただけておりますので、これからも、利用者様のご希望を伺いながら、積極的に屋外活動に努めて参ります。

管理者 永野 聰平



屋外活動 尾之間温泉足湯



これからも

今後は、利用者様や家族

様、さらに利用者様の在宅生活を支える全事業所の皆様と連携を密に取らせていただきますよう、日々支援に努めて参りたいと考えております。



立派な機能訓練を行つて、利用者様の嗜好に合わせた食事の提供、屋外活動等に精力的に取り組んでおります。

また、食事につきましては、利用者様の嗜好を伺いながら、より利用者様に楽しいひとときを過ごしていただけるように日々取り組んでおります。

また、衛生面に配慮しつつ、利用者様の嗜好を伺い、日々の献立にも季節を感じら

お知らせ

投稿写真募集

投稿写真

川瀬 順子様（長峰）



レンゲ畑で

このコーナーで紹介したい写真をお持ちの方はぜひご提供ください。
風景、行事等テーマは問いません。
写真の説明文を一言添付してください。
採用された方には礼品を進呈いたします。
連絡先は議会事務局 431-5900（内線372）
表紙記載のメールアドレスまで

クイズ

◆締切
平成30年5月11日（金）

消印有効。

◆応募先住所等

〒891-4404
屋久島町尾之間157番地

議会事務局クイズ係
電話 431-5900

問① 12月定例会で、一般質問をした議員の人数は？

（ ）

② 広報委員の人数は？

（ ）

▼前号の正解は、次のとおりです。

問1 (16人)

問2 (11月4日)

問3 (10年)

※クイズの正解者の中から抽選により、3名の方に図書券を進呈いたします。

③ 安房の丘が春牧にオーブンしたのはいつ？

（ ）

◆応募方法

住所・氏名・年齢を明記の上、ハガキで下記へご応募ください。

○ 渡辺 千晶様(中間)
○ 梅田 祥晶様(中間)

是非、議会を見にきてください

だれでも自由に傍聴できます。

受付簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

◎議会（定例会・臨時会）は
宮之浦支所と尾之間支所で開催されています。

6月1日から11月30日までは…宮之浦支所議場
12月1日から5月31日までは…尾之間支所議場

編集後記

議会だより編集はもちろのこと、編集作業そのものをしたことがないにも関わらず議会広報の在り方を身近なものに変えたいという思いから、広報委員に立候補させていただきました。

前回の議会だよりは、議員の名前違いなど重大な誤字などがあり、申し訳ありませんでした。正しい内容で発行するという基本的なところを大事に編集することと、新しい試みも加えて編集していくので、今後の課題が山盛りです。

今回はこれまで記載していくかたた、議案に対する討論内容などを盛り込んでいます。

議場でどんな審議がされるのか詳しく、わかりやすくお知らせできるような取り組みになりますよう工夫して丁寧に編集できるように頑張っていきます。

（真辺真紀）

編集責任者

議会広報委員会

委員長 真辺真紀

副委員長 渡辺千護

委員 下野次雄

小脇清保

議長 岩川俊広
発行責任者